

JAMSTEC no.118 Library Communication

12月のセミナーのテーマは、“**海の環境影響評価を支える新技術**”です。
図書館の資料の中から、関連する資料を紹介いたします。



『海のクライシス：地球環境』 岡田康則まんが・構成 / 小学館刊



ものしりロボットのソラリスと主人公の太陽たち3人が、ポッドに乗り込み海中から深海へと冒険の旅に出ます。海の中では、かれらが経験したことのない危機に出会いますが、ソラリスのしっぽにあるデータによって助けられ、海について学びます。読み進めていくことで、自然に地球環境について詳しくなる科学まんがです。



『地球環境問題がよくわかる本』 浦野紘平、浦野真弥共著 / オーム社刊



我々が直面している様々な環境問題について簡潔に解説されており、Part5では川・湖・海の汚染問題が取り上げられています。人を含む数多くの生物に欠かせない水が我々自身によってどのように汚染されているかを知ることができるとともに、章末では環境汚染に個人レベルでどのような対策が取れるかを学ぶことができます。



『自然科学のためのはかる百科』 渥美茂明ほか編 / 丸善出版刊



このほどキログラムの定義変更が決まりましたが、人類は長く「はかる」ことによって自然界とその現象を理解してきました。本書はそのような歴史に触れつつ、何がどのようにはかられているかをまとめたユニークな事典です。項目は時間、原子、同位体、細胞、生態、天体など自然科学全般にわたり、改めて「はかる」ことはあらゆる研究の基礎なのだ実感させられます。



海底の環境モニタリングや資源調査に用いられている
「江戸っ子1号」のジオラマ模型や、
マンガンノジュールなど海底資源の実物を展示中！



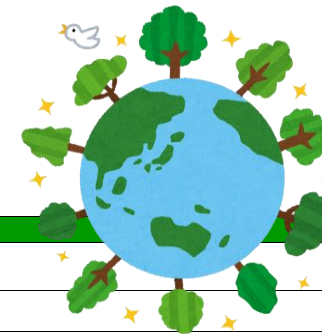


第225回公開セミナー 参考文献一覧

開催日時：平成30年12月15日 13:30～15:00

「海の環境影響評価を支える新技術」

講師：山本 啓之（海底資源研究開発センター 調査役）



★講師おすすめの参考文献

<専門書・学術論文>

書名/論題	著者名	出版社名/掲載雑誌名・巻号・頁・出版年	備考
1 景観生態学：生態学からの新しい景観理論とその応用	モニカ G. ターナー, ロバート H. ガードナー, ロバート V. オニール著; 名取睦ほか訳	文一総合出版	★新着図書
2 保全生態学の技法：調査・研究・実践マニュアル	鷺谷いづみ, 宮下直, 西廣淳, 角谷拓編	東京大学出版会	★新着図書
3 潜水調査船が観た深海生物：深海生物研究の現在	藤倉克則, 奥谷喬司, 丸山正編著	東海大学出版会	★JAMSTECの研究者の著作です
4 海の姿を測る：海洋計測の原理と進化する技術	海洋理工学会編	京都通信社	
5 深海底鉱物資源開発と環境影響調査	福島朋彦	Journal of MMIJ, 124, 836-843, 2008	★インターネットで下記より無料で閲覧できます https://doi.org/10.2473/journalofmmij.124.836 ★JAMSTECの研究者の著作です
6 海底鉱物資源開発に伴う環境影響評価における生物同定の課題と新技術の可能性	福島 朋彦、西島 美由紀	日本海洋政策学会誌, 6, 59-72, 2016	★JAMSTECの研究者の著作です

<一般書・学術論文>

書名/論題	著者名	出版社名/掲載雑誌名・巻号・頁・出版年	備考
1 外来種は本当に悪者か?：新しい野生	フレッド・ピアス著; 藤井留美訳	草思社	★新着図書
2 生物多様性というロジック：環境法の静かな革命	及川敬貴	勁草書房	★新着図書
3 【特集】次世代海洋資源調査技術における資源探査と環境調査の技術開発	山本啓之ほか	海洋と生物, 38(2), 115-163, 2016	特集のうち、「深海生態系の評価と影響評価」を講師が執筆しています

★テーマ関連参考資料リスト：今回は地球環境、生態学に関する図書を図書館2Fに多数展示しています。

<一般書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 環境影響評価：その意義と課題	環境法政策学会編	商事法務	★新着図書
2 環境アセスメントとは何か：対応から戦略へ	原科幸彦	岩波書店	★新着図書
3 環境化学計測学：環境問題解決へのアプローチ法としての環境測定	堀 雅宏	共立出版	★新着図書
4 初心者のための環境評価入門	栗山浩一, 柘植隆宏, 庄子康	勁草書房	★新着図書
5 生物多様性は復興にどんな役割を果たしたか	中静透, 河田雅圭, 今井麻希子, 岸上祐子編	昭和堂	★新着図書
6 自然科学のためのはかる百科	渥美茂明ほか編	丸善出版	★(裏面)Library Communication No.118で紹介しています
7 地球環境問題がよくわかる本	浦野紘平, 浦野真弥共著	オーム社	★(裏面)Library Communication No.118で紹介しています

<児童書>

書名	著者名	出版社名	備考
1 はじめてのAI (エーアイ)：いま知っておきたい未来の暮らし(全3巻)	松林弘治	汐文社	★新着図書
2 海のクライシス：地球環境	岡田康則まんが・構成	小学館	★(裏面)Library Communication No.118で紹介しています

上記の資料は2019年1月16日まで横浜研究所地球情報館2F図書館にて展示しております

(図書館の開館時間 平日10:00～17:00、公開セミナー開催の第3土曜日10:00～16:00)

お問い合わせ：海洋研究開発機構 研究推進部 研究推進第2課 横浜図書館 045-778-5476 library@jamstec.go.jp